

熊本大学、熊本地域や Google と連携し「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス(仮称)」を設立

熊本大学は、Google、熊本県情報サービス産業協会、肥後銀行、熊本県、熊本市、熊本県工業連合会、熊本経済同友会、熊本県立大学、東海大学と連携し、サイバーセキュリティ人材育成の新たな枠組みとして「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス(仮称)」を立ち上げるとともに、熊本大学情報融合学環において「くまもとサイバーセキュリティ講座(仮称)」を開設いたします。

熊本大学では、文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPARC～」において、令和4年度より、上記の機関と「くまもと DX 人材育成プラットフォーム」を創設し、連携協力のもと教育プログラムを実施してきました。この度、当該プラットフォームの下に、Google と連携する「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス(仮称)」を置き、熊本大学の学生のみならず、熊本地域の企業・金融機関・行政機関等におけるサイバーセキュリティ知識・スキルの底上げを図ることを目的とした取り組みを実施してまいります。当日は、当該プラットフォームの令和7年度協議会において本カンファレンス設立について承認を得るとともに、第1回「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス(仮称)」にて、地域のための講座設置に向けた議論を行います。

協議会および第1回カンファレンス終了後、みなさまに当該カンファレンスや講座についてご説明をさせていただくとともに、Google による情報融合学環向け特別講義の一部を公開いたしますので、ぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

＊情報融合学環は、文理融合、実践的教育、学内連携、地域連携、大学間連携で学ぶ「学部等連係課程」であることがその特徴です。データサイエンス(DS)総合コース、DS 半導体コースに加え、今後サイバーセキュリティ分野を本格的な柱として位置づけることで、DX・半導体・サイバーセキュリティが三位一体となった「くまもと型文理融合 DX 教育」を推進し、DX 課題に対応することのできる人材を育成していきます。

記

- 1 日 時： 令和7年12月10日(水)
 - ・13時00分～13時20分 情報融合学環長、Google 担当者等から説明
 - ・13時30分～13時45分 Google から情報融合学環学生への講義冒頭取材
 - ＊11時から13時まで開催予定のくまもと DX 人材育成プラットフォーム令和7年度協議会及び第1回サイバーセキュリティカンファレンスについては、取材対象ではございません。ご了承ください。
- 2 場 所： 熊本大学黒髪南キャンパス D-Square1階 交流ラウンジ、講義室1-1
※詳細な場所については、別添資料参照
- 3 主な取材対象： ・情報融合学環長 城本 啓介及び Google 担当者から、「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス(仮称)」等の今回の取り組みについての説明
・Google から情報融合学環学生への講義冒頭取材

【お問い合わせ先】

熊本大学自然科学系事務課情報融合学環教務担当
担当：端羽(はしば)
ダイヤルイン：096-342-2257

取材ご希望の方は、本紙(連絡票)をFAXいただくか、又は同内容をeメールで担当までご送信ください。短時間で恐縮ですが、12月9日(火曜)19時までにご連絡ください。

【連絡票】

熊本大学、熊本地域やGoogleと連携し「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス(仮称)」を設立

日 時：令和7年12月10日(水) 13時00分～13時45分

会 場：熊本大学黒髪南キャンパス D-Square1階 交流ラウンジ、講義室1-1

貴社名	
ご回答者	TEL E-mail FAX
12/10 当日のご来学 予定人数	

※会場へのご来場時にお名刺をご提出ください。

※会場へのご来場時はマスク着用へのご協力をお願いします。

熊本大学自然科学系事務課情報融合学環教務担当宛

FAX 送付先：096-342-3509

Eメール送信先：szj-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学、熊本地域やGoogleと連携した「くまもとサイバーセキュリティカンファレンス（仮称）」設立の発表、Googleによる講義

日付：12月10日（水）

時間：13:00～13:45

場所：D-Square 1階 交流ラウンジ、講義室1-1

CAMPUS MAP



1 工学部研究資料館



旧制熊本高等工業学校の機械実験工場として、1908(明治41)年に完成。1970(昭和45)年に新工場ができるまで実験工場として使用された。赤煉瓦の工場及び機械群は重文。また、日本機械学会の機械遺産の認定も受けている。

2 工学部百周年記念館



工学部創立100周年を記念して、工学部同窓生、工学部関係者、企業からの寄附により2004(平成16)年に完成。学内外の講演会や演奏会などに活用されている。

7 TKU×マイスティア カフェテリア(FORICO)

「理学部工学部のため」という愛称は学生公募。カフェ&レストランは平日11:00～19:00。ショップ&ベーカリーは平日10:00～19:00。

8 くまもと水循環・減災研究教育センター

複合学問領域からなる研究・教育機能を備え、分野横断型研究の拡充と深化、社会貢献、社会実装を見据えた研究・教育の展開を目指している。

9 埋蔵文化財調査センター

遺跡内にある各キャンパスの建物・設備更新に伴い発掘調査を実施している。縄文時代～近代までの調査成果・出土品を展示、授業にも活用されている。

11 D-Square



DXや半導体に関する教育拠点。学部生及び大学院生がデータサイエンスやAI、半導体関連の研究者とともに様々な共同研究に参画することで、高度な人材を育成することを目的としている。

4 先進マグネシウム国際研究センター

世界トップクラスのマグネシウム合金専用の最新鋭製造・加工設備や分析機器が整備されており、KUMADA/マグネシウム合金をはじめとする先進マグネシウム合金について基礎と応用の両面から研究している。

6 産業ナノマテリアル研究所

国内で初めての二次元ナノマテリアルに特化した研究所として2020(令和2)年4月1日に発足。基礎研究だけでなく産業イノベーションを起こす成果の創出に取り組んでいる。

10 SOIL



オープンラボとして主に企業等との半導体に関する共同研究を推進するための施設として、次世代の最先端研究から実装研究までの様々な共同研究を展開し、半導体実装研究拠点として充実させ研究力の向上を図ることを目的としている。

8 くまもと水循環・減災研究教育センター

全学的研究サポート・マネジメント体制の一元化を目的として設置。本学の研究力を高めるとともに、地域の課題解決に貢献することを目指し活動している。

3 研究開発戦略本部

本施設において、KUMADA/マグネシウム合金に代表される新構造部材開発や新機能性材料創製など、先進マグネシウム国際研究センターを中心とする世界最先端の材料開発に向けて、海外の大学・研究機関の研究者を交えた国際共同研究がその実働に入り、本学を核とした国際共同研究ネットワーク形成に大きく資することになる。2014(平成26)年11月竣工。

5 国際先端科学技術研究拠点施設

本施設において、KUMADA/マグネシウム合金に代表される新構造部材開発や新機能性材料創製など、先進マグネシウム国際研究センターを中心とする世界最先端の材料開発に向けて、海外の大学・研究機関の研究者を交えた国際共同研究がその実働に入り、本学を核とした国際共同研究ネットワーク形成に大きく資することになる。2014(平成26)年11月竣工。

9 埋蔵文化財調査センター

遺跡内にある各キャンパスの建物・設備更新に伴い発掘調査を実施している。縄文時代～近代までの調査成果・出土品を展示、授業にも活用されている。

4 先進マグネシウム国際研究センター

世界トップクラスのマグネシウム合金専用の最新鋭製造・加工設備や分析機器が整備されており、KUMADA/マグネシウム合金をはじめとする先進マグネシウム合金について基礎と応用の両面から研究している。

6 産業ナノマテリアル研究所

国内で初めての二次元ナノマテリアルに特化した研究所として2020(令和2)年4月1日に発足。基礎研究だけでなく産業イノベーションを起こす成果の創出に取り組んでいる。